

私の地区では、こんな活動をしています！

福井市地域福祉活動計画に基づいて取り組んでいる、地区社協の先駆的な活動と感想をご紹介します。



え、「やろうー」と企画し、実践していることが素晴らしいです。学年があがっても、敬老会などの地域の活動に参加してもらえると嬉しいです。

和田地区社協では、小学校と連携し、4年生の福祉学習に力を入れています。地区社協やデイホームの取組みを説明したり、実際にデイホーム会場に児童が出向き、地域の高齢者との交流も行っています。楽しい時間を過ごしてもらえよう、児童がゲームなどを考え、毎回大盛り上がりです。

例年、交流は1回のみでしたが、今年度は児童から「もう一度交流したい！」と希望があり、小学校に高齢者を招いて、一緒にフライングディスクなどのニュースポーツも行いました。企画をはじめ、当日のルール説明や進行もすべて自分たちで行いました。

取組み3

「地域を基盤とした福祉教育で、小・中学生の心を育む」

和田地区社協

小学生との

交流



報告交換ができてよかった」などの声がありました。地域ぐるみで支え合うことについて考えるきっかけになりました。

日之出地区社協では、福祉委員と民生委員・児童委員の合同研修会を開催しました。今回は、「助け合い体験ゲーム」を用いて、「介護が必要な両親と同居している男性」が生活の中で「できること」「してほしいこと」を想像しながらカードを出し合い、「助けて」と言える大切さや難しさを体験しました。

参加者からは、「地域に困り感をもつ人がいたら、どのように対応するか、どのような団体とつながるとよいか考える機会になった」「ワークを通して民生委員さんたちと情報交換ができてよかった」などの声がありました。地域ぐるみで支え合うことについて考えるきっかけになりました。

取組み4

「地域の見守り、支え合いへの理解と共感を育む」

日之出地区社協

「助け合いゲーム」で

合同研修



取組み18

「福祉サービス事業所と住民が地域福祉でできる事を考える」

岡保地区社協

地域の福祉施設との交流



各事業所が、地域住民と一緒に畑作りを行ったり、祭りや学校行事への参加、公民館の清掃活動など日頃から地域との交流を大切に取り組まれています。今回の研修で、さらに顔の見える関係づくりにつながったと感じています。

岡保地区社協では、地区社協役員・福祉委員合同研修として、地域包括支援センターの協力のもと、地域の福祉事業所との勉強会を開催しました。

当日は、地区内外の事業所に参加いただき、介護保険制度の説明や各事業所から施設の概要のほか、福祉避難所としての機能や防災、災害備蓄についてもお話をいただきました。普段からの地域のつながりの重要性を再確認する機会にもなりました。